

山梨学習センター

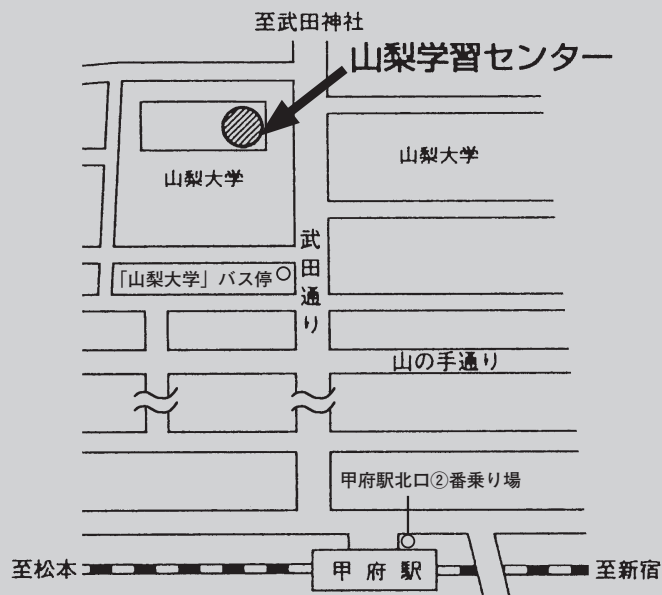
〒400-0016 甲府市武田4-4-37 (山梨大学甲府キャンパス内)
TEL. 055-251-2238

開所時間

面接授業開講日：9：10～17：40

授業概要・時間割表

- JR中央線甲府駅北口から徒歩20分
- 甲府駅北口バス停2番乗り場から「武田神社」又は「積翠寺行」バスで「山梨大学」下車 徒歩1分 (所要時間5分)



【開設科目・開講日一覧】

開設センター	科目区分	科目名	担当講師	科目コード	クラス	定員	10月			
							14日	15日	21日	22日
							土	日	土	日
山梨学習センター(19A)	基盤科目：外国語	買ったチャイナ	林 吟貞	2631172	K	40	1～4 時限	1～4 時限		
	基盤科目：保健体育	根拠に基づく健康寿命延伸法	安藤 大輔	2631180	K	20			1～4 時限	1～4 時限
	導入科目：人間と文化	音と絵の対話	小島 千か	2631253	K	15				
	導入科目：情報	やさしく分かる人工知能	郷 健太郎	2631199	K	15				
	専門科目：生活と福祉	症候論とセルフケア	板倉 淳	2631202	K	30			1～4 時限	1～4 時限
	専門科目：生活と福祉	紡ぐ・織るー服飾の原点の技法	岡松 恵	2631210	K	10				
	専門科目：心理と教育	心理検査法基礎実習	川島亜紀子	2624737	K	20	1～4 時限	1～4 時限		
	専門科目：心理と教育	心理学実験2	小野田亮介	2624990	K	14				
	専門科目：心理と教育	心理学実験1	酒井 厚	2624680	K	20				
	専門科目：心理と教育	心理学実験3	酒井 厚	2624710	K	20				
	専門科目：社会と産業	クリスタル科学	熊田 伸弘 武井 貴弘	2631229	K	20				
	専門科目：社会と産業	増災と減災	鈴木 猛康	2631237	K	40				
	専門科目：社会と産業	ワインの基礎知識	柳田 藤寿	2631245	K	20				
	専門科目：人間と文化	山梨の考古学	山下 孝司	2631261	K	40				
	専門科目：人間と文化	手で学ぶ幾何学的なデザイン	村松 俊夫	2631270	K	25				
	専門科目：自然と環境	赤子からお年寄りまでの栄養	望月 和樹	2631288	K	30				
	専門科目：自然と環境	富士山ー火山と水ー	内山 高	2631296	K	40				
専門科目：自然と環境	生物調査に基づく環境評価	加藤 和弘	2631300	K	40					

10月		11月						12月						1月		開設センター
28日	29日	11日	12日	18日	19日	25日	26日	2日	3日	9日	10日	16日	17日	6日	7日	
土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	土	日	
		1～4時限	1～4時限													
		1～4時限	1～4時限													
								1～4時限	1～4時限							
1～4時限	1～4時限															
						1～4時限	1～4時限									
										1～4時限	1～4時限					
1～4時限	1～4時限															
						1～4時限	1～4時限									
														1～4時限	1～4時限	
				1～4時限	1～4時限											
												1～4時限	1～4時限			
				1～4時限	1～4時限											
								1～4時限	1～4時限							
												1～4時限	1～4時限			

山梨学習センター(19A)

面接授業概要

科目コード	2631172	授 業 概 要	【授業内容】 買い物の場면을想定した短文の中国語会話を学びます。お店での商品についての訊ね方や値引き交渉の言い方など、買い物に関わる様々な表現を学びながら、基本的な中国語の文法や語彙を勉強します。日本人が知らない中国の不思議な事や中国の日常生活、文化、風俗も楽しく学んでみましょう。使える、役立つに視点を置き、自然な会話が身に付くよう実際の場면을想定しレッスンします。「買い物」で役立つ表現を中心に初歩的な会話を楽しめるようになりましょう。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 中国と中国語 第2回 中国語を発音してみよう 第3回 基本的な文法と語彙 第4回 ○○○個ください（数の表現） 第5回 ○○○がありますか（欲しい物探し） 第6回 いくらですか（値段の聞き方） 第7回 もっと安くしてください（値段の交渉） 第8回 クレジットカードが使えますか（支払い時の表現）
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 中国語の使い方を楽しく実践的に紹介するレッスンです。中国での生活や中国の文化に興味がある方、大歓迎です。一緒に楽しみたい方は、是非受講してください。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目名	買ったチャイナ		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
科目区分	基盤科目：外国語		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
ナンバリング	120		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
定員	40名		
担当講師	リン ギンテイ 林 吟貞 (山梨大学・非常勤講師)		
日程 実施時間	10月14日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月15日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2631180	授 業 概 要	【授業内容】 「人生100年時代」の到来といわれる現代、長生きするのであれば健康で元気に楽しく過ごしたいと思う方が多いのではないのでしょうか。「人生100年時代」を豊かに生きるためには「健康寿命」を延ばすことが必要です。それではどうすれば「健康寿命」を延ばすことができるのでしょうか？その方法は日常生活の行動の中にあります。本講義では、科学的な根拠に基づき健康と生活習慣の関係を学ぶ中で、特に動くこと（身体活動）の重要性を認識することを目的とします。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 健康寿命を左右する要因 第2回 がんを防ぐ方法 第3回 血管を若く保つ方法 第4回 高血糖を防ぐ方法 第5回 体脂肪を減らす方法 第6回 筋肉・骨を強くする方法 第7回 認知機能を保つ方法 第8回 人生をアクティブに！
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 一方的な講義形式ではなく、質問をしながら講義を展開していきます。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目名	根拠に基づく 健康寿命延伸法		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
科目区分	基盤科目：保健体育		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、ノート等
ナンバリング	120		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	20名		【参考書】 ・運動生理学 生理学の基礎から疾病予防まで（第2版）（小山勝弘・安藤大輔／編著／三共出版／¥2,750／ISBN=9784782708026）
担当講師	アンドウ ダイスケ 安藤 大輔 (山梨大学大学院・准教授)		【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。
日程 実施時間	10月21日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月22日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb（Zoom） 授業で実施		

科目コード	2631253	授 業 概 要	【授業内容】 ある情景から音や音楽を連想したり、音や音楽から何らかの視覚的印象が呼び起こされたりすることはありませんか？音や音楽は、聴いたり奏でたりするばかりでなく見ることも関連します。身近なもので音と絵の関連を考え、音楽を基にした絵や建築など芸術家の創造に触れ、音環境について考え、受講生のみなさんと絵を基に音楽をつくり、音や音楽の聴き方、見方を問い直してみたいと思います。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	音と絵の対話		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	15名		
担当講師	コジマ チカ 小島 千か (山梨大学・准教授)		
日程 実施時間	11月11日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月12日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨大学音楽総合演習室 (山梨大学甲府キャンパス内) ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施		
			【授業テーマ】 第1回 効果音と音楽 第2回 様々な楽譜 第3回 パウル・クレーの絵と音楽 第4回 印象主義の音楽と絵 第5回 ジャズと絵 第6回 音楽と建築 第7回 音風景・サウンドスケープ 第8回 絵を基にした音楽づくり
			【受講前の準備学習等】 身近なもので音・音楽と絵・図形などが関連する事柄を考えてみてください。また、音や音楽と視覚的印象が関連したご自分のご経験についても振り返っておいてください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【その他(特記事項)】

科目コード	2631199	授 業 概 要	【授業内容】 人工知能やAIというキーワードが、ニュースや新聞で毎日のようにとりあげられるようになりました。私たちの仕事の一部が、人工知能にとってかわられるのではないかと心配している人もいます。この講義では、人工知能について理解するための第一歩として、その特徴を平易に説明します。さらにコンピュータを使った簡単な実習をとおして、内容の理解を深めます。この講義の終了時には、人工知能とは何か説明できるようになります。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	やさしく分かる 人工知能		
科目区分	導入科目：情報		
ナンバリング	220		
定員	15名		
担当講師	ゴウ ケンタロウ 郷 健太郎 (山梨大学・教授)		
日程 実施時間	11月11日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月12日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施		
			【授業テーマ】 第1回 身近で使われる人工知能 第2回 機械学習とは何か 第3回 実習環境の準備 第4回 機械学習の手順 第5回 予測や分類 第6回 人工知能でやっていること1 第7回 人工知能でやっていること2 第8回 ふりかえりとまとめ
			【学生へのメッセージ】 【とても重要】 放送大学キャンパスメールにログインできるように、IDとパスワードを確認(一度ログインできるかどうかを確認)しておいてください。
			【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
			【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
			【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【参考書】 ・Python 3年生 機械学習のしくみ(森 巧尚/翔泳社/¥2,420/ISBN=9784798166575)
			【その他(特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2631202	授 業 概 要	【授業内容】 日本の医療の特色は世界に誇る皆保険制度と世界有数の高度医療です。しかし、その問題点として過剰受診や過剰診療に伴う医療費の高騰が挙げられてきました。一方、欧米では「自らの健康には自らが責任を持ち、自らで治療出来るものは自らで行う」いわゆるセルフメディケーションの文化があり、その概念はこれからの日本の医療にも必要と考えられています。本講座では、セルフケアの概念とセルフメディケーションに繋がる症候論・臨床推論について講義を行います。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 日本の医療の現状とセルフケア 第2回 症候論と臨床推論 第3回 セルフメディケーションと受診勧奨 第4回 頻度の高い症候① 第5回 頻度の高い症候② 第6回 頻度の高い症候③ 第7回 頻度の高い症候④ 第8回 健康と持続可能な医療とは？
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 健康と社会について自由に意見交換をしながら授業を行いたいと思います。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目名	症候論とセルフケア		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び第8回で行うグループワークでの成果(発表)の評価により行います。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
ナンバリング	320		【その他(特記事項)】
定員	30名		
担当講師	イタクラ ジュン 板倉 淳 (山梨大学・特任教授)		
日程 実施時間	10月21日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月22日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb(Zoom)授業で実施		

科目コード	2631210	授 業 概 要	【授業内容】 人はどのようにして衣服をつくってきたのでしょうか？衣服の原料となる繊維は塵のように軽く、細いものです。このような繊維をコントロールして衣服にまでするには、幾つかの重要な技法の発見が必要であったことは想像に難くありません。授業では厚紙や木片製の簡素な道具を用い、羊毛を紡いでマフラーを織ります(糸車や織機は使いません)。「紡ぐ(撚る)」、「織る」といった服飾の原点とも言える技法を講義や実習で学びながら、衣服づくりの道筋を辿ってみましょう。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 紡ぐ(1服飾の原点となる技法：撚る) 第2回 紡ぐ(2羊毛のカーディング) 第3回 紡ぐ(3スピンドルを使って糸を紡ぐ) 第4回 紡ぐ(4双糸をつくる) 第5回 織る(1服飾の原点となる技法：織る) 第6回 織る(2整経) 第7回 織る(3厚紙製の簡素な機を用いた手織り) 第8回 着装とまとめ
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 糸紡ぎや機織りの未経験者を対象としています。製作進度によっては各回の内容が異なる場合もあります。授業は技法の理解や習得を旨としています。市販品のような立派なものはつくれませんのでご注意ください。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目名	紡ぐ・織るー服飾の原点の技法		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
科目区分	専門科目：生活と福祉		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。感染予防や羊毛から出るホコリを防ぐために、マスクのご準備・着用をお願いします。動きやすく汚れても良い服装でお越し下さい。水分補給のための飲み物は、フタの閉まる容器のものをお願いします。
ナンバリング	320		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	10名		【その他(特記事項)】 製作工程には、グループになって行う作業があります。
担当講師	オカマツ メグミ 岡松 恵 (山梨大学・准教授)		
日程 実施時間	12月2日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月3日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議論・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨大学L339号室(山梨大学甲府キャンパス内) ※不測の事態発生時は開講		

科目コード	2624737	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法 基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	カワシマ アキコ 川島 亜紀子 (山梨大学・准教授)	
日程 実施時間	10月14日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月15日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は開講	
【授業内容】 本授業では、心理検査の基本と実践について、講義と実習を通して理解することを目的とします。本授業では、性格や知的能力、態度といった「こころ」の諸側面における個人差をどのように測定するのかについての概要を説明し、実際に3種類の心理検査を体験し、それぞれについてのレポート(目的・方法・結果・考察を含めた標準的なレポート)にまとめます。また、心理検査に関わる倫理や限界、社会的な影響についても学びます。なお、8回の授業すべてに出席し、3種類すべてのレポートを提出する必要があります。		
【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション 心理検査の目的と種類 倫理的問題 第2回 検査実習1 YG性格検査 実習1のレポート作成 第3回 臨床的に使用される検査を知る(知能検査など) 第4回 検査実習2 文章完成法 実習2のレポート作成 第5回 心理尺度の作り方(項目分析、因子分析法) 第6回 検査実習3 パウムテスト 実習3のレポート作成 第7回 投影法(ロールシャッハ・テスト、TATなど)を知る 第8回 心理検査の活用(テスト・バッテリー) まとめ		
【学生へのメッセージ】 心理検査を体験し、ご自身の結果を解釈してレポート(目的・方法・結果・考察を含む標準的レポート)を提出してまいります。この授業を通じて自己理解を深めていただくと幸いです。		
【受講前の準備学習等】 実習課題の内容についてあらかじめ調べておく必要はありませんが、授業や提出するレポートでは、パソコンのワープロソフトや表計算ソフトを使用しますので、入力などの基本的作業を練習しておいてください。		
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。		
【受講者が当日用意するもの】 ワードとエクセルが入ったパソコン(タブレットも可)、HBの鉛筆2、3本と消しゴム、赤のボールペン、定規(短いものでよい)		
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
【その他(特記事項)】 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('18)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。		

科目コード	2624990	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	14名	
担当講師	オノダ リョウスケ 小野田 亮介 (山梨大学・准教授)	
日程 実施時間	10月28日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月29日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15	
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は開講	
【授業内容】 心理学における基礎的実験として「自由再生による記憶の系列位置効果」「メンタルローテーション」「要求水準」の3つを取り上げます。受講生の皆さんは、これらの実験に実験者あるいは参加者として取り組み、分析結果をレポートとしてまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ分析の方法、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、8コマの授業すべてに出席し、3つの実験すべてについてレポートを提出する必要があります。		
【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション：心理学実験とは 第2回 自由再生による記憶の系列位置効果：実験 第3回 自由再生による記憶の系列位置効果：データ分析・レポート作成 第4回 メンタルローテーション：実験 第5回 メンタルローテーション：データ分析・レポート作成 第6回 要求水準：実験 第7回 要求水準：データ分析・レポート作成 第8回 全体のまとめ		
【学生へのメッセージ】 実験の実施とデータ分析、およびレポート作成にはパソコンを用います。基本的なパソコン操作(Word、Excelの計算や図表作成を含む)を習得していることが望ましいです。		
【受講前の準備学習等】 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。		
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。		
【受講者が当日用意するもの】 筆記用具、USBメモリ(データの保存用)		
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
【その他(特記事項)】 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義(概論、研究法、統計学など)を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('18)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法('21)」を視聴してください。		

科目コード	2624680	授 業 概 要	【授業内容】 この授業では、心理学の基礎的な研究テーマを基に、実験心理学でよく使用される方法と考え方を学びます。具体的には、実験者や実験参加者として参加し、データを収集してそれを処理し、得られた結果とそこから考察できることをレポートにまとめるという、研究の一連の作業を学びます。研究テーマは「ミューラー・リヤー錯視」、「心理尺度」、「目撃者証言」の3種類です。8コマすべての授業に出席し、授業終了後に、3つすべての実験についてレポートを提出していただきます。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 心理学研究のやり方とレポートの書き方 第2回 ミューラー・リヤー錯視1：実験 第3回 ミューラー・リヤー錯視2：データの処理と解説 第4回 心理尺度1：実験 第5回 心理尺度2：データの処理と解説 第6回 目撃者証言1：実験 第7回 目撃者証言2：データの処理と解説 第8回 まとめ
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 心理学の実験研究は、データを計算して結果にまとめる作業を伴うものです。授業での班活動やレポート作成のために、パソコンで文字・数字を入力することが求められます。皆さんが研究のプロセスを実際に体験しながら、心理学の奥深さを共に学んでいきましょう。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目名	心理学実験1		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び学術レポートの評点により行います。レポートは期限を設定の上、後日提出していただきます。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講者が当日用意するもの】 ・ワードとエクセルが入っているパソコン ・筆記用具 ・定規 ・グループ内でデータのやりとりをするので、USBメモリを必ず持参してください。
ナンバリング	320		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	20名		【参考書】 ・心理学実験・研究レポートの書き方 学生のための初歩から卒論まで（B.フィンドレイ（細江達郎・細越久美子訳）／北大路書房／¥1,430／ISBN=9784762820465）
担当講師	サカイ アツシ 酒井 厚 (東京都立大学・教授)		【その他（特記事項）】 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
日程 実施時間	11月25日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月26日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2624710	授 業 概 要	【授業内容】 この授業では、心理学の基礎的な研究テーマを基に、実験心理学でよく使用される方法と考え方を学びます。具体的には、実験者や実験参加者として参加し、データを収集してそれを処理し、得られた結果とそこから考察できることをレポートにまとめるという、研究の一連の作業を学びます。研究テーマは「鏡映描写」、「ストループ効果」、「囚人のジレンマ」の3種類です。8コマすべての授業に出席し、授業終了後に、3つすべての実験についてレポートを提出していただきます。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 心理学研究のやり方とレポートの書き方 第2回 鏡映描写1：実験 第3回 鏡映描写2：データの処理と解説 第4回 ストループ効果1：実験 第5回 ストループ効果2：データの処理と解説 第6回 囚人のジレンマ1：実験 第7回 囚人のジレンマ2：データの処理と解説 第8回 まとめ
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 心理学の実験研究は、データを計算して結果にまとめる作業を伴うものです。授業での班活動やレポート作成のために、パソコンで文字・数字を入力することが求められます。皆さんが研究のプロセスを実際に体験しながら、心理学の奥深さを共に学んでいきましょう。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目名	心理学実験3		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び学術レポートの評点により行います。レポートは期限を設定の上、後日提出していただきます。
科目区分	専門科目：心理と教育		【受講者が当日用意するもの】 ・ワードとエクセルが入っているパソコン ・筆記用具（黒鉛筆、赤鉛筆） ・グループ内でデータのやりとりをするので、USBメモリを必ず持参してください。
ナンバリング	320		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	20名		【参考書】 ・心理学実験・研究レポートの書き方 学生のための初歩から卒論まで（B.フィンドレイ（細江達郎・細越久美子訳）／北大路書房／¥1,430／ISBN=9784762820465）
担当講師	サカイ アツシ 酒井 厚 (東京都立大学・教授)		【その他（特記事項）】 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'18）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。色識別を要する実験課題があります。
日程 実施時間	12月9日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月10日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2631229	授 業 概 要	【授業内容】 クリスタル（結晶）は、宝飾産業を地場産業の一つとする山梨県に密接に関わっています。山梨大学のクリスタル科学研究センターにおいても水晶、ルビーやルチルなどの人工合成技術を開発したり、その技術を機能性無機材料へ応用する研究を行っています。本講義では、クリスタルに慣れ親しんでもらうためにクリスタルの基礎について科学的に解説するとともに人工水晶などのクリスタル作りの実習を行います。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 結晶とは 第2回 結晶はどのようにしてできるか 第3回 人工水晶を作ろう1（溶解→析出による結晶育成） 第4回 結晶の顕微鏡観察 第5回 人工宝石を作ろう1（融解→凝固による結晶育成） 第6回 人工水晶を作ろう2 第7回 人工宝石を作ろう2 第8回 物質の色
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 結晶に関する基礎知識を学び、人工宝石の合成、顕微鏡観察および分光器の作製などの実習を行います。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目名	クリスタル科学		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び各回で課す小テストにより行います。
科目区分	専門科目：社会と産業		【受講者が当日用意するもの】 センター内移動用に上履きを持参ください。
ナンバリング	320		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	20名		【その他（特記事項）】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P17参照）
担当講師	クマダ ノブヒロ 熊田 伸弘 (山梨大学・教授) タケイ タカヒロ 武井 貴弘 (山梨大学・教授)		
日程 実施時間	10月28日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月29日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00		
実施会場	山梨学習センター及び山梨大学クリスタル科学研究センター（山梨大学甲府キャンパス内） ※不測の事態発生時は閉講		

科目コード	2631237	授 業 概 要	【授業内容】 良かれと思った開発や制度が、のちに大きな災いを招いてきました。これを増災と呼びます。開発と災害は両立できないトレードオフの関係にあります。本授業では、古代や中世の日本における増災について述べた後、2021年8月に発生した熱海市伊豆山地区の土石流災害を振り返ります。我が国の縦割り行政や、地方分権改革に基づく都道府県への認可権限移譲の問題点等、我が国の縮図と言ってよい構造的課題にも言及します。その後、行き過ぎた再生可能エネルギーの開発やグランピング開発を、現在の増災として紹介します。また、増災を防ぎ、将来発生するであろう災害をかわす事前の減災についてレジリエントなまちづくりを中心に解説します。本授業では、防災の基礎知識を含め、座学によって教科書の内容を具体的に学びます。さらに、ワークショップを通して受講生にグループディスカッションをしてもらい、トレードオフの難しさについて、自ら考えてもらうように努めます。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 増災とは、そして減災とは 第2回 熱海伊豆山地区の土石流災害から学ぶ 第3回 現代の増災 ～再生可能エネルギー開発は増災なのか～ 第4回 行き過ぎたグランピング開発は増災、ディスカッション 第5回 行き過ぎたグランピング開発は増災 第6回 将来に備える事前減災、増災をなくすために 第7回 気候変動と自然災害、ディスカッション 第8回 発表とまとめ（増災を阻止する方法）
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 将来の子孫が、日本が増災で悩まされることのないように、政府やマスメディアの情報だけでなく、受講生が自らの判断によって、正しい行動をしていただけるきっかけになることを願っています。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 SDGsや脱炭素社会、気候変動などについて、自習してから受講していただく、理解度が増すと思います。
科目名	増災と減災		【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
科目区分	専門科目：社会と産業		【受講者が当日用意するもの】 筆記道具、ノート、教科書
ナンバリング	320		【教科書】 ・増災と減災（鈴木 猛康／理工図書／¥2,200 / ISBN=9784844609292）
定員	40名		【参考書】 ・改訂 防災工学（鈴木 猛康編著／理工図書／¥3,850 / ISBN=9784844609179）
担当講師	ススキ タケヤス 鈴木 猛康 (山梨大学・名誉教授/特定非営利活動法人防災推進機構・理事長)		【その他（特記事項）】 ワークショップに必要なグッズについては、筆記用具を含め、講師が準備しています。
日程 実施時間	11月25日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月26日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議論・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb（Zoom）授業で実施		

科目コード	2631245	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	ワインの基礎知識	
科目区分	専門科目：社会と産業	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	ヤナギダ フジトシ 柳田 藤寿 (山梨大学ワイン科学研究センター・教授)	
日程 実施時間	1月6日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 1月7日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～14:35 議・レポート等 14:35～15:20 第4時限 15:30～17:00	
実施会場	山梨学習センター及び山梨大学ワイン科学研究センター(山梨大学甲府キャンパス内) ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施	
【授業内容】 ワインに関する基礎を学びます。ワインの原料である「ぶどう」、アルコールを造る「酵母」やワイン醸造法等の基礎知識や最新の日本ワイン情報を身につけていただきます。また、講義の後半には、実際のワイン醸造現場での学習も行います。さらに、ワインを美味しく味わうために、実際にワインのテイastingを体験実習します。		
【授業テーマ】 第1回 ワインとブドウ 第2回 ワイン醸造と微生物 第3回 海洋酵母ワインと赤池幻酵母ワイン、開府500年スパークリングワイン 第4回 ワインと健康 第5回 日本ワインについて 第6回 ワインのテイastingについて 第7回 ワイン科学研究センターの説明と見学 第8回 ワインの保存方法及びワインを飲むときの正しいマナーについて		
【学生へのメッセージ】 注1) 面接授業2日目最終講義終了後、ワインのテイastingの講習を行います。注2) テイastingには受講者全員の参加を希望します。注3) 20歳未満、車での来校者は受講出来ません。		
【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。		
【成績評価の方法】 面接授業2日目第3時限に簡単なレポートを課し、その評点により行います。		
【受講者が当日用意するもの】 テイasting代として、当日1,500円いただきますのでご用意ください。		
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
【その他(特記事項)】		

科目コード	2631261	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	山梨の考古学	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	ヤマシタ タカシ 山下 孝司 (放送大学・非常勤講師)	
日程 実施時間	11月18日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月19日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時は開講	
【授業内容】 考古学は、土に埋もれた歴史を、発掘調査によって掘り起こし、過去の人類が残したモノ(物質資料)から明らかにする学問です。山梨県内の考古学の成果を紹介し、主に文字で書かれた文献史料を研究対象とする歴史学とは異なる、考古学の学問的な特性を理解し、山梨という地域の歴史を考え学びたいと思います。		
【授業テーマ】 第1回 考古学入門 ～発掘調査と山梨の考古学～ 第2回 旧石器時代 ～山梨の自然環境と遊動生活～ 第3回 縄文時代 ～遺跡が語る縄文時代の山梨～ 第4回 弥生・古墳時代 ～山梨おける農耕社会のはじまりと古墳の築造～ 第5回 奈良・平安時代 ～律令制下の都と甲斐国～ 第6回 トイレの考古学 第7回 武士の台頭と中世 ～戦国時代の甲府～ 第8回 天下統一と江戸時代 ～甲府城と城下町～		
【学生へのメッセージ】 地下から発掘された資料(モノ)をもとに、そこから復元される、山梨の歴史について年代を追って順に見ていきましょう。		
【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。		
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。		
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
【その他(特記事項)】		

科目コード	2631270	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	手で学ぶ幾何学的なデザイン	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	25名	
担当講師	ムラマツ トシオ 村松 俊夫 (放送大学山梨学習センター・所長)	
日程 実施時間	12月16日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月17日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00	
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施	
【授業内容】 絵画や彫刻とは違って「デザイン」には、美しさだけではなく社会性（役に立つか）や合理性（道理にかなっているか）が求められます。それらの条件を満たすために、しばしば「幾何学的な造形手法」を取り入れることがあります。そのようなデザインの内容を、初歩的なものからすこし高度なものまで、紙を材料に三角定規やコンパス、カッターなどを使い、実際に手を動かしながら演習形式で楽しく学んでいきます。		
【授業テーマ】 第1回 かたちを構成する原理：○を組み合わせて「家紋」を描こう 第2回 様々なかたちを□に直す：「カンタベリーパズル」に挑戦しよう 第3回 □を使ってらせんを描く：「アルキメデスの螺旋」を描いてみよう 第4回 充填模様：隙間なく同じ「五角形タイル」で平面を敷き詰めよう 第5回 分割再構成パズル：「タングラム」「清少納言知恵板」で遊ぼう 第6回 裏返る造形：「ヘキサフレクサゴン」「ヨシモトボックス」をつくらう 第7回 役に立つ折り紙：「フジモトパターン」「ミウラオリ」を体験しよう 第8回 球体折り紙：折り紙で「パッケージになる立体」を制作しよう		
【学生へのメッセージ】 特段の専門的知識や技能は必要ありません。演習中心の授業なので、受講生の皆さんの主体的な取り組みに期待します。		
【受講前の準備学習等】 各回の「キーワード」でインターネット上を検索し、予備知識を得ておくことをお勧めします。		
【成績評価の方法】 成績評価は、学習に対する積極的・能動的な姿勢と、演習課題による成果物をもとに判断します。		
【受講者が当日用意するもの】 筆記用具（鉛筆、消しゴム）、直定規（30cm程度）、三角定規セット（1辺24～30cm程度）、コンパス（長さ15cm程度）、事務用カッター ※上記は普通の事務用のもので構いません。大きめのものであれば「百均ショップ」のものでも可。紙の材料は学習センターで用意します。		
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
【その他（特記事項）】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P17参照）		

科目コード	2631288	授 業 概 要
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	赤子からお年寄りまでの栄養	
科目区分	専門科目：自然と環境	
ナンバリング	320	
定員	30名	
担当講師	モチツキ カズキ 望月 和樹 (山梨大学・教授)	
日程 実施時間	11月18日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月19日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 識・レポート 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb (Zoom) 授業で実施	
【授業内容】 人間はお母さんのお腹から生まれ、成長、加齢していきます。本講義では、妊娠期、乳児期、幼児期、学童期、思春期、成人期、老齢期において、どのような食生活をしたら健康的な生活が送れるかを話したいと思います。		
【授業テーマ】 第1回 ライフステージ栄養学概要 妊娠して出産、乳児期、幼児期、学童期、成人期、高齢期で変化する人間の臓器の機能、代謝を説明し、それぞれのステージでの栄養の考え方を概説します。 第2回 妊娠期 妊娠期の胎児の成長、お母さんの体の変化、病気のリスク、回避するための食事などを説明します。 第3回 乳児期 乳児の発達、それに必要な食事・栄養素（母乳）、及び離乳期の食事などを説明します。 第4回 学童期・思春期 学童期や思春期の発達、それに必要な食事・栄養素、及び食事などを説明します。 第5回 成人期1 成人期中期までに起こることが多い、肥満、メタボリック症候群と予防する食生活について説明します。 第6回 成人期2 成人期後期に起こることが多い生活習慣病と予防する食生活について説明します。 第7回 老齢期 高齢期で観察されるフレイルと予防する食生活について説明します。 第8回 まとめ 第1～7回を受けて、健康長寿を実践する食生活について説明します。		
【学生へのメッセージ】 日常的に食生活に気をつけると本講義が理解しやすくなると思います。		
【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。		
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。		
【受講者が当日用意するもの】 筆記用具のみで大丈夫です。		
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。		
【その他（特記事項）】		

科目コード	2631296	授 業 概 要	【授業内容】 富士山が世界文化遺産に登録されてから、富士山への関心は高まっていますが、富士山についての自然科学的な側面については学ぶ機会がなかなかありません。特に火山災害・防災に関する研究の進展とあわせて、自然科学的な側面の内、火山としての富士山、まためぐみ、特に水に関する、最新の自然科学的成果が上がっています。本講義では、活火山としての富士山の成り立ちからそのめぐみとしての水資源について話をしたいと思います。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 日本の地質 第2回 火山の基礎 第3回 火山の噴火様式と富士山の成り立ち 第4回 火山の噴火災害とめぐみ 第5回 生命を支える地球の水・水の基礎知識 第6回 様々な水質とその起源 第7回 富士山のめぐみ 水 第8回 全体のまとめ
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 火山噴火は時に多大な災害をもたらしますが、静穏時にはより大きなめぐみを与えてくれます。このような富士山の光と影について、自然科学的な側面から一緒に考えていければと思います。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 シラバス（参考図書など）を参考にして自己学習に努めてください。
科目名	富士山 －火山と水－		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び筆記試験の評点により行います。
科目区分	専門科目：自然と環境		【受講者が当日用意するもの】 富士山に関する情報、特に火山及び水資源に関する情報を集めてみて下さい。
ナンバリング	320		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	40名		【参考書】 ・地球進化 46億年の物語（ブルーバックス）（ロバート・ヘイゼン（著）円城寺守（監訳）渡会圭子（翻訳）／講談社／¥1,276 / ISBN=9784062578653） ・地学雑誌 小特集：富士山の地下水（地学雑誌、126巻（2017）1号） 2.（地学雑誌、129巻（2020）5号（内山 高ほか／東京地学協会／¥0） 次のURLから、該当する論文のPDFファイルをダウンロードすることができます。 https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jgeography/126/1/_contents-char/ja/
担当講師	ウチヤマ タカシ 内山 高 (山梨県富士山科学研究所・専門員)		【その他（特記事項）】
日程 実施時間	12月2日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月3日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb（Zoom） 授業で実施		

科目コード	2631300	授 業 概 要	【授業内容】 生物による環境評価、とは、ある場所に生息・生育している生物の種類や量を知ることで、その場所が生物の生息・生育にとってどのような状態にあるかを評価することです。このような評価ができるのは、少なくともいくつかの生物について、その生息状況と環境条件の間の関係が把握されているからです。この授業では、生物による環境評価の考え方について、理論的な背景を紹介した上で、具体的な手法を実例を通じて学びます。
学習センター	山梨学習センター		【授業テーマ】 第1回 生物調査による環境評価が可能な理由 第2回 生物指標と指標生物 第3回 種組成変化のパターン その1・入れ子構造 第4回 種組成変化のパターン その2・その他のパターン 第5回 鳥類調査に基づく都市化の評価 第6回 底生無脊椎動物の調査に基づく河川の環境評価 第7回 珪藻の調査に基づく河川の環境評価 第8回 その他の事例、まとめ
学習センターコード	19A		【学生へのメッセージ】 授業中に、配付資料（ワークシート）への記入と簡単な計算を行っていただきます。計算は筆算で十分ですが、電卓（あるいは計算機能を持つスマートフォンなど）をお使いいただいで構いません。試験は語句あるいは短文の記述により回答していただく形式で実施します。
クラスコード	K		【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
科目名	生物調査に基づく 環境評価		【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
科目区分	専門科目：自然と環境		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。授業中にワークシートで計算を含む作業をしていただきます。その際に電卓等をお使いいただいで結構です。
ナンバリング	320		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
定員	40名		【参考書】 ・生物環境の科学（加藤 和弘／放送大学教育振興会／¥3,300 / ISBN=9784595316449） 放送授業「生物環境の科学（'16）」の印刷教材です。
担当講師	カトウ カズヒロ 加藤 和弘 (放送大学・教授)		【その他（特記事項）】
日程 実施時間	12月16日（土） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月17日（日） 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議・レポート 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター ※不測の事態発生時はWeb（Zoom） 授業で実施		